

2018年2月18日（日）学習院大学
文部科学省委託事業 外国人児童生徒等教育を担う教員の養成・研修モデルプログラム開発事業
日本語教育学会主催シンポジウム「外国人児童生徒等教育を担う教員・支援員の資質能力の育成—モデルプログラム開発に向けて—」

調査3 研修内容に関する調査 —期待される研修—

報告者：仲本 康一郎（山梨大学）

2018/2/18

公益社団法人日本語教育学会主催シンポジウム「外国人
児童生徒等教育を担う教員・支援員の資質能力の育成—
モデルプログラム開発に向けて—」

1

調査3の概要と目的

・外国人児童生徒等教育に関する研修の実態調査

外国人児童生徒等の教育に求められる資質・能力について、教員養成系大学・学部、教育委員会、学校等で実施されている研修の実施状況や内容の実態を調査する。

・研修モデル・プログラムの提案

国内の教員養成・研修、地域の支援活動等の実態に即した教員養成、教員研修の方針を明確にし、それぞれの教育課程、教育内容の在り方を示し、具体的な教育方法の検討を行う。

2018/2/18

公益社団法人日本語教育学会主催シンポジウム「外国人
児童生徒等教育を担う教員・支援員の資質能力の育成—
モデルプログラム開発に向けて—」

2

目次

- ・インタビュー対象者と質問項目
- ・期待される教員研修
- ・まとめと展望

2018/2/18

公益社団法人日本語教育学会主催シンポジウム「外国人
児童生徒等教育を担う教員・支援員の資質能力の育成—
モデルプログラム開発に向けて—」

3

インタビュー対象者

2018/2/18

公益社団法人日本語教育学会主催シンポジウム「外国人
児童生徒等教育を担う教員・支援員の資質能力の育成—
モデルプログラム開発に向けて—」

4

本調査が対象とする養成・研修機関

- 外国人児童生徒等教育に関して先駆的な取り組みを行っている教育委員会、学校、NPO団体等の担当者を対象に、**教員研修**の内容・方法についてインタビュー調査を実施した

	教員養成機関	研修機関
基礎教育	大学 教員免許を取得する学生	教育委員会／学校／地域の団体 管理職・在籍学級担任 教科担当・その他学校職員
専門教育	大学 教員免許を取得する学生 日本語教育を専攻する学生 →将来的には支援員候補	文部科学省／教育委員会／地域の団体 外国人児童生徒等担当教員 日本語指導担当教員

2018/2/18

公益社団法人日本語教育学会主催シンポジウム「外国人児童生徒等教育を担う教員・支援員の資質能力の育成—モデルプログラム開発に向けて—」

5

インタビュー対象者

- インタビュー対象者を「**所属先の状況**」（外国人集住地域、散在地域）、「**立場**」（指導主事、校長等）で示す。

	集住地域	中間地域	散在地域
教育委員会（指導主事等）		3	
学校（校長）	1		
地域の団体 （国際交流協会、NPO等）			2

2018/2/18

公益社団法人日本語教育学会主催シンポジウム「外国人児童生徒等教育を担う教員・支援員の資質能力の育成—モデルプログラム開発に向けて—」

6

インタビュー質問項目

2018/2/18

公益社団法人日本語教育学会主催シンポジウム「外国人児童生徒等教育を担う教員・支援員の資質能力の育成—モデルプログラム開発に向けて—」

7

インタビュー質問項目 1

外国人児童生徒等教育・日本語指導の研修について

- 研修の具体的な内容、形式、回数
- どのような研修が効果的であったか**
- 課題だと感じていること、その解決に必要なこと**
- 参加者のニーズに対応するにはどうすればよいか
- 研修成果の評価をどのように行っているか

2018/2/18

公益社団法人日本語教育学会主催シンポジウム「外国人児童生徒等教育を担う教員・支援員の資質能力の育成—モデルプログラム開発に向けて—」

8

インタビュー質問項目 2

外国人児童生徒等教育・日本語指導を担当する教員／支援者に学んでほしい内容について

- ・新たに外国人児童生徒等教育・日本語指導の担当になる教員／支援者はどのようなことを学んでおくべきだと思うか
- ・受講者の外国人児童生徒等教育・日本語指導の経験年数の違いによって、研修内容・形態等をどのように変更すべきか

2018/2/18

公益社団法人日本語教育学会主催シンポジウム「外国人児童生徒等教育を担う教員・支援員の資質能力の育成—モデルプログラム開発に向けて—」

9

インタビュー質問項目 3

外国人児童生徒等教育・日本語指導担当ではない教員対象に向けた研修について

- ・在籍クラスの担任や教科担任にはどのような研修が必要か
- ・初任教員対象かベテラン教員対象かにより研修内容・形態をどう変更すべきか
- ・学校の運営・管理にあたる管理職や指導主事にも、この領域の教育についての研修を受ける必要があると思うか

2018/2/18

公益社団法人日本語教育学会主催シンポジウム「外国人児童生徒等教育を担う教員・支援員の資質能力の育成—モデルプログラム開発に向けて—」

10

期待される教員研修

2018/2/18

公益社団法人日本語教育学会主催シンポジウム「外国人児童生徒等教育を担う教員・支援員の資質能力の育成—モデルプログラム開発に向けて—」

11

期待される教員研修



- ・外国人児童生徒等教育研究会
管理職、在籍学級担任を対象 : 「基礎教育」研修
 - ▣ 「立場」に応じた研修
- ・日本語指導担当者会
日本語指導員、支援員を対象 : 「専門教育」研修
 - ▣ 「経験」に応じた研修

2018/2/18

公益社団法人日本語教育学会主催シンポジウム「外国人児童生徒等教育を担う教員・支援員の資質能力の育成—モデルプログラム開発に向けて—」

12

外国人児童生徒等教育研究会 立場に応じた研修

2018/2/18

公益社団法人日本語教育学会主催シンポジウム「外国人
児童生徒等教育を担う教員・支援員の資質能力の育成—
モデルプログラム開発に向けて—」

13

管理職、指導主事

- **外国人児童生徒等教育の現状を知るための研修**
文部科学省の施策・指針
県内の外国人児童生徒の現状
- 『外国人児童生徒等受入れの手引き』（文部科学省）
- **外国人児童生徒の受入・支援体制を整備するための研修**
外国人児童生徒が日本の学校に入っていくプロセスを明確化し、校内で協力的な支援体制を築く
- 「チーム学校」として協働で子どもを教育・支援する体制をつくる
- 一般教員、指導員、支援員のための学びの機会を保障する
校内研修を企画・運営する、**リソース・ルーム**を設置する
← 指導員の交代にともなう引き継ぎができるようにする



2018/2/18

公益社団法人日本語教育学会主催シンポジウム「外国人
児童生徒等教育を担う教員・支援員の資質能力の育成—
モデルプログラム開発に向けて—」

14

在籍学級担任

- **外国人児童生徒の学びや成長について知るための研修**
教師自身のビリーフの修正を促すための学び
毎日学校で過ごしていれば日本語は自然に身につく？
日本の学校に適応できていればそれで十分である？
- **異文化／他者を受容する学級づくりのための研修**
「学級・学校の国際化」を実現するため方法を学ぶ
異なる価値観や生活スタイルへの受容的態度を育成する
子どもが自己のルーツや母文化を肯定する態度を育成する
- **外国人の子どもを協働で支援するための研修**
外国人児童生徒の教育を指導員や支援員に丸投げにしない
例、**個別の指導計画**等を通じて指導員との協力体制を築く



2018/2/18

公益社団法人日本語教育学会主催シンポジウム「外国人
児童生徒等教育を担う教員・支援員の資質能力の育成—
モデルプログラム開発に向けて—」

15

日本語指導担当者会 経験に応じた研修

2018/2/18

公益社団法人日本語教育学会主催シンポジウム「外国人
児童生徒等教育を担う教員・支援員の資質能力の育成—
モデルプログラム開発に向けて—」

16

初任者研修



- **日本語の知識や指導法・評価法について知る研修**
日本語 日本語の基本文法 音声、文字、語彙
指導法 サバイバル日本語、初期指導、日本語と教科の統合 (JSLカリキュラム)
評価法 JSL対話型アセスメント (DLA)、JSLバンドスケール
- 日本語教室での実際の授業活動の観察と解説
授業活動をビデオで録画し、映像化したものがあればよい
- **第二言語教育/習得について知る研修**
国語教育や外国語教育とは本質的に異なる
子どもの発達段階や滞在期間、母語、文化的背景によって指導が異なる
異文化適応、アイデンティティに関する配慮が必要とされる
生活言語能力/学習言語能力の違い etc.

2018/2/18

公益社団法人日本語教育学会主催シンポジウム「外国人
児童生徒等教育を担う教員・支援員の資質能力の育成—
モデルプログラム開発に向けて—」

17

経験者研修



- **日々の実践を情報交換できる研修** → ケース会議
各々の実践を持ち寄って検討し合う事例紹介
指導者、在籍学級担任、専門家など異なる立場からの意見
→ 相互の学びの機会、指導の化石化を防ぐ
- **指導員や支援員が悩みを共有できる場**
指導員は校内では孤立しがちであり、同じ立場で相談できる
人が近くにいない
- **関係者との連携や発信の方法を考える研修**
各教員が外国人児童生徒の支援のどこにいるかをマッピングする
→ 自己の役割の自覚 (ポジショニング)、教育・支援ネットワークの構築
- **外国人児童生徒等教育コーディネーターの養成**

2018/2/18

公益社団法人日本語教育学会主催シンポジウム「外国人
児童生徒等教育を担う教員・支援員の資質能力の育成—
モデルプログラム開発に向けて—」

18

まとめと展望

2018/2/18

公益社団法人日本語教育学会主催シンポジウム「外国人
児童生徒等教育を担う教員・支援員の資質能力の育成—
モデルプログラム開発に向けて—」

19

まとめと展望



- 教員の成長と教員研修
外国人児童生徒等教育の現代的課題を知る
「**学び続ける教員**」基礎教育から専門教育へとつなげていく
- **「立場」と「経験」に応じた研修**
外国人児童生徒等教育研修会 = 基礎教育
日本語指導担当者会 = 専門教育
- 教育・支援コミュニティと連携ネットワークの形成
管理職、指導者、支援者、地域ボランティア ■ チーム学校
- **外国人児童生徒等教育コーディネーターの育成**

2018/2/18

公益社団法人日本語教育学会主催シンポジウム「外国人
児童生徒等教育を担う教員・支援員の資質能力の育成—
モデルプログラム開発に向けて—」

20

今後の研修へ向けた提言

1. 研修の目的の再設定

文化的多様性と社会的公正の実現を目指し、そのための教育実践を積極的に担う人材——「多文化教員」を育成する

- 学校現場の「問題」に対応するための課題解決能力の養成ではない！

2. 教員の資質・能力

外国人児童生徒等教育の全国的な動向の把握

現場の課題を把握するための視点と知識・スキル・態度の育成

背景となる科学的知見への目配り

3. 研修の設計とその波及

教員の成長とライフコースを見据え、その資質・能力を育成するための**プロセスを重視した長期的な「学び」の設計**

研修成果の集積と波及のためのコミュニティの形成

2018/2/18

公益社団法人日本語教育学会主催シンポジウム「外国人
児童生徒等教育を担う教員・支援員の資質能力の育成—
モデルプログラム開発に向けて—」

21

ご清聴ありがとうございました

2018/2/18

公益社団法人日本語教育学会主催シンポジウム「外国人
児童生徒等教育を担う教員・支援員の資質能力の育成—
モデルプログラム開発に向けて—」

22